

第109回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	買	掛	金
仕	入	売			上	受	取	手	支	払	手
備	品	手	形	売	却	損	支	払	家	賃	受
所	得	税	預	り	金	従	業	員	立	替	金
未	収	入	金	未	払	金	租	税	公	課	前
前	払	金	仮	受	金	仮	払	金	現	金	過
資	本	金	手	形	貸	付	金	手	形	借	入
貸	倒	損	失	償	却	債	権	取	立	益	

1. 前期掛売り分の売掛金 ¥ 200,000 が回収不能となり、貸倒として処理した。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 100,000 であった。
2. 従業員の給料について源泉徴収していた所得税 ¥ 100,000 を小切手を振り出して税務署へ納付した。
3. 備品 ¥ 200,000 を購入し、代金のうち ¥ 50,000 は小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うこととした。なお、備品の引取運賃 ¥ 20,000 と据付費 ¥ 10,000 は、現金で支払った。
4. 得意先大友商店振り出しの約束手形 ¥ 200,000 について、銀行で割り引き、割引料 ¥ 5,000 を控除した残額は当座預金とした。
5. 先月、仮受金として処理していた内容不明の当座入金額は、松永商店から注文を受けた際の手付金受取額 ¥ 100,000 と、足利商店に対する掛け代金の回収額 ¥ 50,000 であることが判明した。